

## 第三の性パスポート, ネパールなどに倣い米でも

アメリカ国務省が6月30日、パスポートの性別欄に「X」を追加すると発表した。「M(男)」でも「F(女)」でもない人びとは、「X」を選択できるようになる。いわば「第三の性パスポート」。今年中に実施の予定。

このような「第三の性パスポート」は、ネパールをはじめ印、濠、加など数か国がすでに採用しており、米政府もそれらの国の「第三の性パスポート」は承認している。

【参照】[第三の性パスポート, ネパール発行開始 性的少数者の権利, 先進国ネパールから学べ](#)  
[M・F・X:ネパール「第三の性」旅券発行へ 「第三の性」パスポート, 最高裁作成命令](#)

また、米国内でも、20州以上が性別「X」選択可能な身分証明証を発行しているし、控訴裁判所も「X」選択可能パスポートの発行命令を出している。

バイデン政権は、性の多様性容認への内外のこのような流れに掉さし、「史上最多のLGBTQI+を政府関係者に任命」(在日米大使館)したのに続き、このたびは「第三の性パスポート」の採用に踏み切ったのであろう。

それにしても、「性」は、人間のアイデンティティの根源にかかわるだけに、難しい。現在のところ、人びとは、その「性」により、「男」または「女」だけでなく、「LGBTQI+」としても区分されているらしい。

L = レスビアン(女性同性愛者)

G = ゲイ([主に男性]同性愛者)

B = バイセクシュアル(両性愛者)

T = トランスジェンダー(性別違和)

Q = クィア/クエスチョニング(Queer/Questioning, 性自認未定ないし不選択)

I = インターセックス(男女両性身体)

+ = その他の様々な性

あまりにも複雑。正直、よくわからない。「性」は、厳密に定義しようとすればするほど多様となり、したがってそれぞれの「性アイデンティティ」を尊重して人びとを公平に処遇しようとすればするほど社会の仕組みも複雑とならざるをえない。

しかし、そんな方向に突き進めば、早晩、にっちもさっちも行かなくなるのは目に見えている。

そこで、いっそのこと「性」の区分や記述を一切なくしてしまえ、といった極論が出されることになる。もともと「性」など無限に多様なものだから、その多様性を尊重すべきなら、「性」を一切問わないのがもっとも公平ということになる。たとえば、トイレを性ごとに無限に多様化できないのなら、性別を問わない「万人共用トイレ」にしてしまえ、ということ。

が、こうした性区分撤廃論はちやぶ台返し、問題を振り出しに戻すだけにすぎない。非生産的。われわれとしては、ややこしくて面倒だが、「LGBTQI+」という形でいま提起されている問題に、一つ一つ誠実に取り組み、よりよい解決策を模索していく以外に方法はあるまい。

このような「性」多様化の問題は、何かにつけ外圧で動く日本にとっても他人事では済まされない。たとえば、アメリカは「LGBTQI+の権利を擁護する米国」を掲げ、在日米大使館主催「LGBTQI+の権利向上をめざそう～アメリカと日本をつないで～」などを開催している。

おせっかい、余計なお世話という気もしないではないが、「人権」は、いまや「大砲」以上に強力で有効なアメリカ外交の手段。照準が向けられているのは中国だけではない。日本政府も、いずれ「第三の性パスポート」を発行し、そして、もう一つの「せい＝姓」についても「夫婦別姓」法制化という形で多様化せざるをえなくなるだろう。

\*1 ANTONY J. BLINKEN(SECRETARY OF STATE), "[Proposing Changes to the Department's Policies on Gender on U.S. Passports and Consular Reports of Birth Abroad](#)," PRESS STATEMENT, JUNE 30, 2021

\*2 在日米国大使館と領事館「[LGBTQI+の権利を擁護する米国](#)」

\*3 "[U.S. protects the rights of LGBTQI+ people](#)," ShareAmerica -Jun 3, 2021

\*4 アメリカ大使館「[バイデン政権、史上最多のLGBTQI+を政府関係者に任命](#)」

\*5 "[U.S. to add third gender option to American passports](#)," nbcnews.com, July 1, 2021

\*6 Kate Sosin, Orion Rummmler, "[U.S. to add 'X' gender marker on passports](#)," June 30, 2021



谷川昌幸(C)

Written by Tanigawa [編集](#)

2021/07/04 at 16:44

カテゴリー: [インド](#), [ネパール](#), [文化](#), [旅行](#), [人権](#)

Tagged with [パスポート](#), [第三の性](#), [LGBTQI](#), [別姓](#), [性的少数者](#), [性別 X](#)